

2025 年 11 月 7 日

日本ガス協会技術賞（ガス技術部門）を2件受賞し、表彰を受けました

北海道ガス株式会社（社長：川村智郷、以下：北ガス）が開発に携わった「衛星測位技術を活用した埋設管漏洩検査管理システム※1」および「ノーブロー遮断装置」の2件が、一般社団法人日本ガス協会主催「2025 年度日本ガス協会技術賞（ガス技術部門）※2」を受賞し、2025 年 11 月 5 日に開催された Gas Innova（主催：日本ガス協会）で表彰されました。

▼表彰式の様子



衛星測位技術を活用した埋設管漏洩検査管理システムは、高精度な衛星測位（GNSS）技術を活用し、埋設ガス導管の漏洩検査に関するペーパーレス化と検査結果の自動記録化を実現する業務管理システムです。

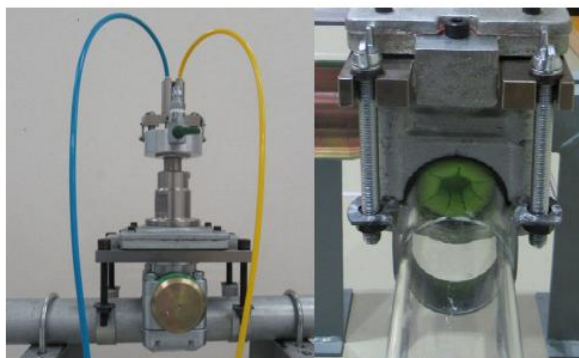
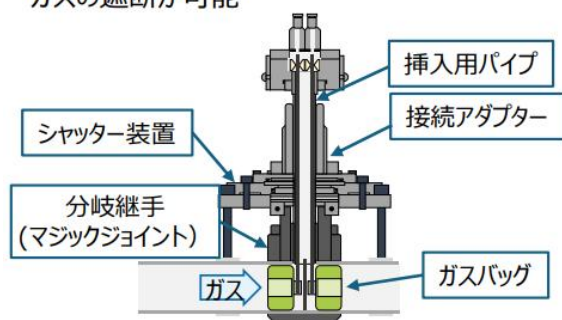
誤差数 cm の高精度測位による検査の軌跡と、緯度・経度・標高に対応する形式へデータ変換した導管データを照合することで、従来は紙帳票を用いて手作業・目視確認で行っていた検査の記録・集計・実績管理を全て自動化し、現場での情報は全てタブレット画面上での確認・入力に移行できました。



また、ノーブロー遮断装置は、建物内の既設配管において、系統バルブ等の無い場所でもガスを遮断することができる装置です。装置の設置から遮断、開放、撤去までの一連の作業において、ピットやパイプシャフト内などの室内空間へのガスリークを発生させず、安全性を各段に向上させるとともに、作業時間やコストの大幅な低減を実現しました。

装置構成

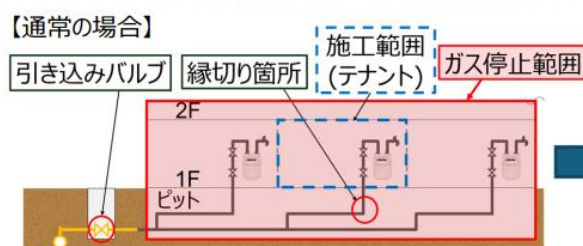
- 既存の分岐継手とシャッター装置の活用により空間へのガスリークを発生させずにガスバックの挿入とガスの遮断が可能



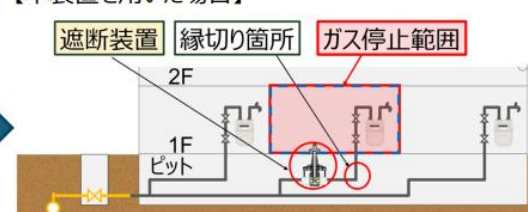
ガス供給停止範囲

- テナントビル等で系統毎のバルブが無い場合でも、ガスの停止範囲を最小限とすることが可能

【通常の場合】



【本装置を用いた場合】



北ガスでは、北ガスグループ経営計画「Challenge 2030」にもとづき、デジタル技術の活用による事業構造改革を推進しています。エネルギーの安定供給と安全の確保を前提に、従来の業務プロセスを抜本的に見直ししながら、強固な事業基盤の構築に向けた取り組みを引き続き進めてまいります。

※ 1 : [高精度 GNSS 位置情報サービスを活用したガス導管検査管理システムの開発について](#)

※ 2 : [日本ガス協会 HP \(2025 年度受賞一覧\)](#)

以上